

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号  
 会社名 株式会社 T & C ホールディングス  
 代表者名 代表取締役 田中茂樹  
 (コード番号 3832)  
 問合せ先 社長室長 笠屋雅義  
 (TEL. 03-5425-7013)

## 平成 20 年 11 月期中間期末の投資有価証券評価損および 中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

投資有価証券評価損の発生についてお知らせするとともに、平成 20 年 1 月 11 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 11 月期中間期（平成 19 年 12 月 1 日から平成 20 年 5 月 31 日）の連結及び個別の業績予想について、下記の通り修正いたしますのでお知らせ致します。

### 記

#### 1. 投資有価証券評価損について

保有有価証券のうち、時価が著しく下落した銘柄について、平成 20 年 11 月期中間期において投資有価証券評価損を計上いたします。

##### (1) 連結

(A) 平成 20 年 11 月期中間期末の投資有価証券評価損の総額	316 百万円
(B) 平成 19 年 11 月期の純資産額 (A/B×100)	1,574 百万円 (20.1%)
(C) 最近 4 連結会計年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	124 百万円 (254.8%)
(D) 最近 4 連結会計年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	77 百万円 (410.4%)

##### (2) 個別

(A) 平成 20 年 11 月期中間期末の投資有価証券評価損の総額	316 百万円
(B) 平成 19 年 11 月期の純資産額 (A/B×100)	965 百万円 (32.8%)
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	32 百万円 (987.5%)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	30 百万円 (1053.3%)

注) 1. 当社の中間決算期末は 5 月 31 日であります。

2. 連結における平均額については、当社が平成 16 年 11 月期より連結財務諸表を作成しておりますので、最近 4 連結会計年度の平均額を使用しております。

3. 個別における平均額については、平成 15 年 11 月期及び平成 16 年 11 月期の経常利益・当期純利益を 0 として算出しております。

(3) 投資有価証券評価損計上の理由

投資有価証券評価損 316 百万円は、香港株式市場の投資情報及びリアルタイム株価提供につき業務提携している Finet Group Ltd. 株式の評価損であります。同社は、香港 GEM 市場に上場しており、平成 20 年 11 月期中間期末（平成 20 年 5 月末）において、中国株式市場の低迷を背景に時価が著しく下落したため投資有価証券評価損の計上を行ったものであります。

2. 平成 20 年 11 月期 中間期業績予想の修正

(1) 連結中間期業績予想数値の修正（平成 19 年 12 月 1 日 ～ 平成 20 年 5 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	776	11	△21	△71
今回修正予想(B)	626	△60	△96	△431
増減額(B-A)	△150	△71	△75	△360
増減率(%)	△19.3	-	-	-
前期実績(平成19年11月期中間期)	561	△0	△29	△54

(2) 個別中間期業績予想数値の修正（平成 19 年 12 月 1 日 ～ 平成 20 年 5 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	192	0	△30	△32
今回修正予想(B)	176	△31	△54	△372
増減額(B-A)	△16	△31	△24	△340
増減率(%)	△8.3	-	-	-
前期実績(平成19年11月期中間期)	209	35	△12	△16

(3) 連結中間期業績予想の修正

売上高が当初予想に対して減少いたしますのは、金融アドバイザー事業において上期に計画していた売上が実現しなかったこと等によります。

営業利益・経常利益においても、売上高の計画未達を主因に、各々当初予想比 71、75 百万円の減額となる見込みです。当期純利益については、上記 1. 記載の投資有価証券評価損の計上等により、赤字幅が当初予想比 360 百万円拡大する見込みです。

(4) 個別中間期業績予想の修正

個別中間期業績の売上においては、子会社からの経営管理料収入等が計画を下回ったことから当初予想を下回る見込みです。また、支払報酬等の増加から一般管理費が計画を上回り、営業利益・経常利益とも当初予想を下回る見込みです。当期純利益については、連結同様、投資有価証券評価損を計上したことから赤字幅が拡大する見込みです。

### 3. 今後の見通し

通期の業績予想数値については、連結・個別ともに修正はありません。

※ 今回の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上